



「まち」を見つめ直し、新たな「まち」の姿を描きます

富士市都市計画マスタープランを策定します

富士市都市計画マスタープランとは？

都市計画マスタープランとは、市町村が住民の意見を反映させつつ、将来のまちづくり（都市計画）の基本的な方針を定めるものです。

今回策定する富士市都市計画マスタープランは、第五次富士市総合計画を踏まえて、おおむね20年後の富士市の将来を展望した「まちづくりのビジョン」を描くもので、全体構想、地域別構想、実現化方策の3つの内容で構成されます。

新しい時代に対応した計画を策定します

富士市の20年後の人口は、22万4000人（平成22年の人口に比べ、3万人減）と大幅な減少になると推計されています。また、年齢構成も大きく変化すると見られ、20年後には約3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測されています。そこで、人口が減り、高齢者がふえても生活の質を低下させず、さらに向上するような計画を策定していきます。

★今後、策定に向けて、市民の皆さんのさまざまな意見を反映させていきます。

問い合わせ 都市計画課

☎(55)2786 FAX(51)0475

E ktoshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp

第五次富士市総合計画（平成23年度～32年度）

都市計画に関する基本的な方針

富士市都市計画マスタープラン

◇策定期間：平成23年度～25年度

◇計画期間：策定時から20年間

基本的な考え方

ばらばらに人々が居住すると、道路や下水道などのインフラ整備、公共公益施設の建設・維持などの経費がかかります。また、人のつながりが薄れると地域社会が壊れるおそれがあります。

→ まちのコンパクト化を考えます！

まちのコンパクト化（集約化）は、「まちなか」への一極集中ではありません。周辺部でも快適で便利な日常生活を送れるよう居住地として一定の生活機能を確保する必要があります。

→ まちの機能を再検討します！

高齢社会になると、自動車を自分で運転できない人がふえます。そのため自動車にかわる交通手段（＝公共交通）の充実が求められています。

→ 公共交通の計画と運動させます！

全体構想

まち全体を見据え…

富士市全体のまちづくりの目標や整備方針を定めます

地域別構想

地域を見つめ…

地域別のまちづくりの目標や整備方針を定めます

実現化方策

アクションプランを描く

富士市都市計画マスタープランを実現する上での基本的な取り組みの方針を定めます